

文字入力スキル

パソコンを使う上で、文字入力を避けて通ることはできません。

どんな場合に文字を入力するかと言えば、

- ・読んでもらう、あるいは自分で読んだり確認したりするための文字を作る
- ・インターネットでの検索用の言葉を作る

の二つがほとんどです。この場合、主に使われるのは、日本語です。また、前者では、ファイル名なども含まれます。

一方、キーボードの文字キーには、こういった文字を「作る」以外に、

- ・パソコンを操作する

という大きな役割があります。前に書いた、ショートカットキーと言われる使い方です。

こういった文字キーの使い方がスムーズにできることを、「文字入力スキル」と言った場合、次の5つが基本になると思います。

1. キーボード上で、キーの位置を覚える
(パソコンを操作する上では、最低このことだけであれば使えます)
2. どのキーの組み合わせでひらがなが作れるかを覚える(ローマ字入力)
3. スペースキー、Enter キーの意味がわかって使える
4. 漢字仮名混じり文にできる(日本語変換スキル)
5. どのキーをどの指で押さえるかを体で覚える(ホームポジション、と言われる使い方です。覚えるのは、頭ではなく、指です。自転車や水泳と同じで、訓練が必要です。)

ローマ字入力は、1年生の秋から始めます。ホームポジションの練習は、2年生の終わりから3年生初めにかけて始めます。日本語変換のコツについては、4年生で教えます。

これらのタイミングは、これまでの経験から、適当だと思われた時期ですが、教科の学習指導要領のように、決まっているわけではありません。

先日行われた『毎日パソコン入力コンクール』では、5年生全員が『ローマ字』という課題(ローマ字入力でひらがなを作る)に挑戦しましたが、その結果、参加者115名のうち、1分間で80文字以上のひらがなが入力できたのが、5名のみでした。ワードなどのワープロ画面では、だいたい1行が40文字ですから、1分でひらがなだけで2行、漢字仮名混じり文になると、1行そこそこの入力の力、ということになります。

もう少し練習の機会や練習方法について考えたい、と感じました。